

練習船 一式

総合評価基準

令和4年4月

独立行政法人国立高等専門学校機構

弓削商船高等専門学校

本資料は弓削商船高等専門学校（以下「本校」という。）が調達する練習船に係る入札の評価に関する基準を述べたものである。

1. 性能・機能及び技術等の評価方法

調達物品の性能・機能及び技術等（以下「性能等」という。）の評価は、本校が作成する「建造仕様書」及び「4. 評価項目及び得点配分基準」（以下「評価基準」という。）に基づき、以下のとおり評価を行う。

なお、「建造仕様書」及び「評価基準」に記載されていない性能等は評価の対象としない。

また、「建造仕様書」及び「評価基準」に記載されている性能等であっても、入札機器の性能等が本校としての必要度・重要度に照らして、必要な範囲を超え、評価する意味のないものは、評価の対象としないことがある。

- (1) 「建造仕様書」に記載する性能等の要求要件を満たしているか否かを判定し、これを満たしているものについて、「評価基準」に示す点数の範囲内で得点を付与する。
- (2) 提出された資料について、ヒアリングを行うことがある。

2. 落札者の決定方法について

次の各要件に該当する競争加入者のうち、入札価格に対する得点（以下「価格点」という。）に加え、「評価基準」に基づき付与された得点（以下「技術点」という。）を総合的に評価（価格点+技術点から総合評価点を算出）し、総合評価点が最も高い者を落札者とする。

- ① 予定価格の制限の範囲内の入札価格を提示した競争加入者等であること。
- ② 入札機器の性能等が「建造仕様書」で指定する技術的要件を全て満たしていると判定された競争加入者等であること。

3. 総合評価の方法

- (1) 価格点と技術点の得点配分は、1対1とする。
- (2) 価格点は、入札価格を予定価格で除して得た数値を1から減じて得た数値に、入札価格に対する得点配分（100点）を乗じて得た数値とする。
- (3) 技術点の評価方法は、次のとおりとする。

本校が作成した建造仕様書及び一般配置図を標準としたうえで、これに品質向上、コスト削減等に関する以下①～⑦の技術提案等を求める。この技術提案等に対し、評価基準に示す点数の範囲内（100点）で得点を与える。なお、技術提案内容については、本校が示す建造仕様書及び一般配置図に対して重大な変更を伴わないものとする。

① 品質向上のための提案

建造する「災害支援機能を有した練習船」（以下、「本校練習船」という。）が優れた品質となるための、総合的な品質向上に関する提案及びその技術的根拠（建造実績等を含む）

- ② コスト削減のための提案
 建造後の本校練習船に係る維持管理コストを削減するための、総合的なコスト削減に関する提案
- ③ 機能・性能向上に関する提案
 本校練習船における研究教育実習及び災害支援環境の向上、機器の選定その他機能・性能に関する提案及びその技術的根拠
- ④ 建造工程計画の妥当性
 具体的な建造計画
- ⑤ 建造工事における環境対策
 二酸化炭素排出削減を目的とした工程管理、工事方法その他環境負荷低減を図るための具体的措置
- ⑥ 建造工事における安全対策
 建造工事中の労働災害防止、火災の予防その他建造工事中の安全管理体制
- ⑦ ワーク・ライフ・バランス等に関する取組
 以下のいずれかの認定を有しているか
- ・ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定（えるぼし認定企業（※労働時間等の働き方に係る基準を満たすものに限る。）・プラチナえるぼし認定企業）又は一般事業主行動計画策定済（常時雇用する労働者の数が100人以下のものに限る。）
 - ・ 次世代育成支援対策推進法（以下「次世代法」という。）に基づく認定（トライくるみん認定企業・くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）
 - ・ 青少年の雇用の促進等に関する法律（以下「若者雇用促進法」という。）に基づく認定（ユースエール認定）
- なお、外国法人については、内閣府によるワーク・ライフ・バランス等推進企業認定等相当確認を受けていること。
- (4) 価格及び性能等に係る総合評価は、入札者の入札価格の得点に当該入札者の申込に係る性能等の評価項目の得点の合計を加えて得た数値をもって行う。

(練習船 一式)

価格点		技術点			
$\left(1 - \frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}}\right) \times 100 \text{ 点}$	+	100 点	=	総合評価点	
1	:	1		最も高い者が 落札者	

4. 評価項目及び得点配分基準

評価項目	評価基準	配点
①品質向上のための提案	建造する本校練習船が優れた品質となるために有意な工夫・提案がみられるか。	15
	本校練習船のような特殊な種類の船舶建造を高い品質で建造できる技術的裏付け（建造実績を含む）があるか。	10
②コスト削減のための提案	建造後の本校練習船にかかる維持管理コストを削減すべく、総合的なコスト削減に関する優位な工夫・提案が見られるか。	15
③機能・性能向上のための提案	本校練習船の目的を十分に理解し、本校練習船における研究教育実習及び災害支援環境の向上に関する優位な提案が見られるか。	15
	機器の選定その他機能・性能に関する優位な提案が見られるか。	15
	特別な技術を要する提案については、技術的裏付けがあるか。	5
④建造工程計画の妥当性	建造計画は、技術提案を含めた建造仕様書の実現性、有効性を踏まえた適切なものであるか。	10
⑤建造工事における環境対策	省エネ化、省 CO ₂ 化を目的とした工程管理、工事方法等、環境負荷低減を図るための有意な提案であるか。	5
⑥建造工事における安全対策	建造工事中の労働災害防止、火災の予防その他建造工事中の安全管理体制が見られるか。	5
⑦ワーク・ライフ・バランス等に関する取組	以下のいずれかの認定を有しているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定企業（※労働時間等の働き方に係る基準を満たすものに限る）・プラチナえるぼし認定企業）又は一般事業主行動計画策定済である（常時雇用する労働者の数が100人以下のものに限る。） ・次世代法に基づく認定（トライくるみん認定企業・くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業） ・若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定） （外国法人の場合）内閣府によるワーク・ライフ・バランス等推進企業認定等相当確認を受けていること	5

得点配分基準

技術提案の加点に係る要件に関しては、提案書の各評価項目について、それぞれ以下の評価基準により得点を与える。

評価項目 ①～⑥

評価基準	配点	15	10	5
特に優れている		15	10	5
かなり優れている		11	7	3
優れている		7	4	2
標準的である		3	1	1
内容が不十分である、または記載がない		0	0	0

評価項目 ⑦

評価基準	配点
認定数 3 以上	5
認定数 2	3
認定数 1	1
認定数 0	0

(様式1)

練習船 一式 総合評価 技術提案等

会社名： _____

① 品質向上のための提案

建造する本校練習船が優れた品質となるための、総合的な品質向上に関する提案及びその技術的根拠（建造実績等を含む）

(様式2)

練習船 一式 総合評価 技術提案等

会社名： _____

② コスト削減のための提案

建造後の本校練習船に係る維持管理コストを削減するための、総合的なコスト削減に関する提案

(様式3)

練習船 一式 総合評価 技術提案等

会社名： _____

③ 機能・性能向上に関する提案

本校練習船における研究教育実習及び災害支援環境の向上、機器の選定その他機能・性能に関する提案及びその技術的根拠

(様式4)

練習船 一式 総合評価 技術提案等

会社名： _____

④ 建造工程計画の妥当性

具体的な建造計画

(様式5)

練習船 一式 総合評価 技術提案等

会社名： _____

⑤ 建造工事における環境対策

二酸化炭素排出削減を目的とした工程管理、工事方法その他環境負荷低減を図るための具体的措置

(様式6)

練習船 一式 総合評価 技術提案等

会社名： _____

⑥ 建造工事における安全対策

建造工事中の労働災害防止、火災の予防その他建造工事中の安全管理体制

(様式7)

練習船 一式 総合評価 技術提案等

会社名： _____

⑦ ワーク・ライフ・バランス等の取組に関する認定状況		
・女性活躍推進法に基づく認定等	えるぼし認定企業 (※労働時間等の働き方に係る基準を満たすものに限る)	有 ・ 無
	プラチナえるぼし認定企業	有 ・ 無
	一般事業主行動計画策定済 (常時雇用する労働者の数が 100 人以下のものに限る)	有 ・ 無
・次世代育成支援対策推進法に基づく認定	トライくるみん認定企業	有 ・ 無
	くるみん認定企業	有 ・ 無
	プラチナくるみん認定企業	有 ・ 無
・青少年の雇用促進等に関する法律に基づく認定 (ユースエール認定)		有 ・ 無

注1) 認定を有することが確認できる認定証等の写しを添付すること。

注2) えるぼし認定企業については、労働時間が基準を満たしていることが確認できる資料を添付すること。

注3) 外国法人については、内閣府によるワーク・ライフ・バランス等推進企業認定等相当確認を受けていること。